



たくさんの教育者、政治家にしっかりと観てほしい！ ～第7回未来に伝える平和祭への参加ありがとうございました！～③

ドキュメント映画「教育と愛国」、参加者の感想のつづきです。

・教育の場が追い込まれていっている。研究者と教科書、教育現場も。安倍内閣以後、特に急速に強まっている。いわゆる右の人たちが、以前なら発言できないようなことを、声を大にして発している。映画にも出ていた桜井氏など。日本全体が恐ろしい右傾化してしまった。それを許してしまったことが心配です。



・教科書を変えさせられた側と変えるように強いた側の両者の言葉が聞けたのはよかった。そこで、驚いたのは変えさせた側の人たちも自分たちは正しいことをしていると信じているらしいことです。いかに、子ども時代の経験が人に大きく影響しているのかが分かります。(中には権力によって影響された人もいたでしょうけど)

・教科書に被害だけのせて加害をのせないようにする動きで、出版社を倒産にまで追い込まれれば経済的にも反論できない状態を生み出します。葉書での圧力もかなりのもので、これこそ蛮行。歴史から何も学べなくなると思います。私も沖縄の集団自決に日本軍が関与した通信を出した際に管理職から詰問されたことがあります。「命どう宝」の劇もやめろと言われました。チェルノブイリ原発事故の医療支援の団体を呼んだ時も同様でした。教育は賛否両方を教えるべきだと思っています。

・2000年より教科書内容がここまで変わったことを恥ずかしながら知りませんでした。大量のクレームの葉書。名前を出して郵送した人たちが、それぞれ自分の考えではないのに葉書を出している事実が衝撃でした。だれの指示なのか…。ここ20年で世論の風が変わった原因の一部が見えました。しっかりと自分で考えて、政治活動に励みます。(福岡県議会議員)

・教科書検定の実情がよく分かりました。育鵬社を選ぶ学校が増えているのに驚きました。教育に政府が介入するどころか支配している。先の戦争でこれがいかに恐ろしいか、洗脳するには教育が一番効果があると言われます。着々と戦争への道を歩んでいますね。戦争反対の声をあげていきましょう。

・日本の右傾化が教科書の記述変更からより具体的に身近に感じられ、それぞれの節目で日教組を中心に反対してきたことを思い出した。閣議決定(国会を通さずに)がとても多いのは「政府の統一見解に踏まえた記述を」と検定に書かれているからだ、その姑息なやり方に怒りを感じた。抗議ハガキやインターネットでの攻撃は今から考えると世界統一教会がからんでいるなど思った。

この映画「教育と愛国」は、これからの教育を担っていく若い教職員に見てほしい映画でした。しかし、参加者の年齢層は50代以上の教職員が多くを占めていました。現場の忙しさは想像できますが、この教科書への攻撃を教育現場にいる私たちは知っておく必要があります。歴史の事実がなかったことになったり、うやむやにされたり、**あなたは子どもたちの未来が心配ではありませんか？**

わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！



///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

